

## 第2回 ふくまる夢たまごセミナー



日時 6月3日(金) 18:00~20:00

場所 中央公民館 3階大ホール

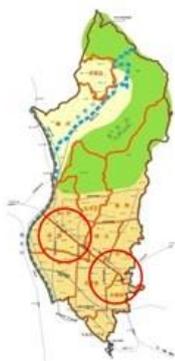
内容 ①「池田市のまちの歴史と教育について」

梶田幸三郎 (教育政策課指導主事)

②「現場実習に臨むにあたって」

加藤美穂代 (セミナーアドバイザー)

6月3日18時、11名の塾生が出席し、第2回ふくまる夢たまごセミナーが始まりました。



### 池田のまちの歴史

・みなさんが考えるまちの中心の定義!

- ・人が大勢住んでいる。
- ・発展している。
- ・駅や大きな道路が通っている。
- ・市と同じ名前が入っている場所。
- ・市役所があるから。
- ・一番人数が多い学校があるから。
- ・などなど……

最初に、梶田指導主事から「人生1回クイズ」が出されました。梶田学級では、クラス開きにこの問題を出し、子どもの「ああ!」「わかった!」というひらめきを引き出しているそうです。塾生も「あっそうか!」というつぶやきとともに、少し緊張がほぐれてきたようでした。

「池田市のまちの歴史」では、現在の池田の中心地はどこか、また、なぜ、その場所が中心なのかをグループで話し合いました。昔の池田についても、中心はどこだったのか、その理由についてもグループで考えました。グループワークは、塾生の会話をはずませ、和やかなセミナーになっていきました。



### 池田のまちの歴史

- ・駅や国道ができる前の大昔の池田のまちの中心だと思うところを○でかこんでみましょう!
- ・その理由は?

理由

他にも、まちの歴史については、池田駅・石橋駅の今昔、名産である池田炭や呉春、「事始めのまちいけだ」として、小林一三、安藤百福の紹介など、池田の魅力が梶田指導主事から伝えられました。



「池田市の教育」については、全市で実施している小中一貫教育として就学前施設を含め、小・中学校の全てが各学園に分かれていること、各学園がそれぞれに共通の「めざす子ども像」を示し教育活動を行っていることの説明がありました。なかでも「ほそごう学園」義務教育学校については、越智指導主事からさらに詳しく話を聞くことができました。

②「現場実習に臨むにあたって」については、最初に加藤アドバイザーから現場実習校の発表があり、続けて、現場実習での4つの心得が話されました。学校という現場ではどんな仕事も率先して行うこと、笑顔で楽しんで多様な経験を積むこと、何かあれば必ず連絡すること、また、守秘義務とコロナ下での健康管理について学びました。

**ふくまる 教育塾** 現場実習に臨むにあたって

1. コミュニケーション

「伝える」…自分の伝えたいことを相手に正確に、効果的に  
 「受け取る」…相手が伝えたいことや相手の意図を理解する  
 「非言語」…書く・読む、話す・聞くだけでなく、表情、声のトーン、言葉や状況

2. 意思疎通（報告・連絡・相談）

- 遅く帰って、口頭で簡易疎通をする！（メールだけだと足りない）
- 自己紹介カードと所属機関の計画表を学校側に提出する。
- 次回いつ来るのかを伝える時に伝えてもらう。
- 「あのがとうございしました。次回は〇月〇日に戻させていただきます。」
- 予定が変わったら、すぐに学校側に電話で伝える。
- 遅ったことがあれば教頭先生に相談する。

3. 現場実習では

- 学校側という場で多様な経験を積む。
- どんな仕事でも率先してやる。
- 多くの教職員の方々と交流する。
- 授業補助に入る時は、「自分ならどうするか」ということを考えてみる。
- わからないことや疑問に思ったことは、先方に見せる。
- 連絡は責任を持って行う。

4. 守ってほしい

- マスクの着用（強制）、手洗い・手指消毒・うがい等の励行。
- 実習開始2週間以上前から実習終了日の間、各自検温を実施し、発熱、咳の心配が出て記録を提出する。
- 発熱や咳、息苦しさ、体のだるさ等、体調に不安がある場合は実習を見合わせる。 ※マスクの着用については活動場所・活動状況によって変わることがあります。詳しくは、学校側の指示に従ってください

自分の事は自分でやる。それは誰か、周りの人を守るためです。

### ＜塾生の感想から＞

○ グループワークで互いに知識や経験を振り絞り答えを出すという活動は、とても楽しく、多面的な視点で池田のことを考えることができました。

○ グループワークで他の方といろいろ話すことができ、楽しかったです。実習校が決まって緊張とわくわくが入り混じった感情です。実習先で楽しみながらたくさんを経験したいです。